

県内「昼カラ」クラスター 感染拡大 小学校にも

福井・休校4日間 児童ら67人検査へ



女子児童の感染を受け会見する福井県教委の担当者(左)ら
=30日、県庁

カラオケ喫茶の経営者や利用客のクラスター(感染者集団)が、小学校にも飛び火した。福井県が30日に感染を発表した福井市内の小学校に通う女子児童は、カラオケ喫茶を利用した別居する親族宅を訪問していた。福井市教委は臨時休校とする4日間で、接触があった児童ら67人のPCR検査や校舎の消毒を急ぐ。(児島崇之、小柳慶祥)

【1面に本記】

同教委によると、女子児童は28日まで登校し、発熱や体調不良はなかった。感染対策は徹底されており、校内に濃厚接触者はいないとみられるという。同じクラスや合同授業を受けた児童62人と教員5人に対し、「念のため」(同教委)、9月1、2日にPCR検査を行う。

国のガイドラインに沿って休校期間を31日から9月3日までの4日間に設定。校舎全域を消毒するため、当該学年だけでなく全学年を対象とした。同期間、体育施設の貸し出しを中止し放課後児童クラブなども閉所する。休業期間は出席停止扱い。4日以降の対応は市保健所と協議する。

市教委は保護者への通知で、PCR検査の対象外となった児童の感染リスクは低いことを伝えた上で「不要不急の外出や学習塾、スポーツ活動を控え、毎朝の検温などで健康状態を把握してほしい」と呼び掛けた。

この小学校に通う別の児童の保護者は「とうとう身近に来たなという感覚。きょうだいを学校や保育園に行かせていいのか、休校は3日までで本当に大丈夫か不安」とほした。その上で「感染した児童は悪くない。誹謗中傷などいじめにつながるなら、しっかりと大人がケアしていくことが大事」と話した。

この小学校に通う別の児童